

企画提案書作成要領

本要領は、企画提案書を一定の基準をもって審査するために記載を求める事項を示すものである。企画提案書の作成に当たっては、本要領及び「菊陽町拠点間接続回線調達公募型プロポーザル実施要領 別表 採点基準」を参考に作成すること。

なお、以下の事項の記載が無いことで企画提案書を無効とするものではない。

1 表紙

「企画提案書」と題し、応募事業者名を記載すること。

2 内容

（１）構築工程

①構築フローの全体像

例：設計、調達、構築・設置、試験、切替、運用のフェーズ毎の作業と手順

②施工スケジュール

③設備・回線・機器等の調達、手配計画

④工期短縮の可能性があるか

（２）構築体制

①構築体制、プロジェクト管理体制の概要（技術者の配置、役割・責任分担等）

②（１）構築工程を踏まえ、業務量と人員配置が十分であることの説明

③突発的な変更に対応可能な体制であるかの説明

例：予備人員の確保、作業調整の柔軟性等

④構築から運用保守体制への移行についての説明

例：構築担当者がそのまま運用保守も担当するか、別担当へ引き継がれるか

町側の運用担当者へのマニュアルの提供やレクチャーを予定しているか等

（３）構築・運用実績

①過去３年以内における同種回線の九州内自治体での運用団体数

（代表する３自治体名と合計運用団体数）

②運用実績に基づく安定稼働の説明（事例やデータの提示）

（４）回線仕様

①帯域増減の柔軟性、迅速性

例：帯域メニュー、帯域変更の手続方法、変更に要する日数、一時的な変更が可能か等

- ②契約約款やサービス仕様に基づくものであることの明記
- ③②の公開状況（Web 公開している場合は URL、公開していない場合は、閲覧手段を明記）
- ④自社通信設備の有無、第三者に依存する部分があるかの説明
- ⑤他の利用者の影響を受けない（受けづらい）回線であることの説明
- ⑥冗長化構成の構成図

例：中継ネットワークの冗長化、伝送装置の冗長化等

- ⑦サービス中断を最小限にする機能の有無

例：障害時の切替わり機能等

（５）サービス品質・保証（SLA）

- ①一定期間における稼働率 SLA の保証基準
- ②中継区間の 1 か月平均遅延時間 SLA の保証基準
- ③故障復旧時間 SLA の保証基準
- ④各 SLA の料金返還制度の有無と具体的な内容

（６）保守運用体制

- ①24 時間 365 日の回線監視・保守体制、有人体制の有無
- ②問合せ窓口について
- ③異常検知の仕組み
- ④回線終端装置の監視機能（電源断検知等）の説明
- ⑤回線稼働状況等を確認できる専用 Web ページの有無
- ⑥⑤の Web ページの機能説明

例：トラフィックの可視化（グラフ化）、遅延時間の可視化、しきい値超過時の自動通知機能、ログ・レポート出力機能等

（７）障害・災害復旧

- ①障害発生から復旧までのフロー
- ②自社設備、第三者に依存する設備の復旧フローの違い
- ②災害時の保守体制
- ③地方公共団体を優先的に復旧する仕組み
- ④大規模災害時に仮復旧手段を提案できるか
- ⑤過去の障害対応実績
- ⑥保守部隊の駆けつけ目安時間、体制の説明

(8) その他

上記以外で「菊陽町拠点間接続回線調達公募型プロポーザル実施要領 別表 採点基準
プレゼンテーション審査評価視点」に則した説明事項